

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	桑の木		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 3日		～ 令和7年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11 (回答者数)	8
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 3日		～ 令和7年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	12: 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	・事業所内相談会や保護者の方と面談の際、活動内容や現在支援している点を保護者にお伝えしている。	・事業所内相談会等以外にも、保護者に普段の活動の様子や子ども達の様子を動画や写真をお見せし子どもと保護者様がより安心して生活できるようにしていきたい。
2	16: 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	・毎月、事業所内相談会を行い、保護者様からの相談や質問等にお答えしている。	・事業所内相談会以外でも保護者様からのご要望にお応えし必要に応じて面談等お話しする機会を作っていく。
3	29: 事業所の支援に満足していますか。	・子ども達に寄り添い子ども達の様子に合わせて活動や支援を行っている。今年度は、子ども達が落ち着いて過ごす事を目標に支援してきた。	・今年度、落ち着いて過ごす事ができるようになってきた子ども達が笑顔で楽しく過ごせるよう活動内容を工夫していきたい。今、必要な活動を行なう。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	11: 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	・コロナ渦以前は、地域の方と一緒に活動する機会がありました。現在は規模を縮小している。	・感染症等の状況や子ども達の様子を見ながら地域の行事等の参加していく。 ・保護者様からのご要望があれば幼稚園等の訪問も引き続き行っていきます。
2	18: 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	・コロナ渦以降、行事等の規模を縮小している。徐々に再開しているが、現在利用しているお子たちの年齢が小さいので安心して安心感をもって過ごす事から始め段々と子ども達も慣れてきたので規模を縮小して行事を行っている。	・子ども達の年齢も上がってきて経験も積み重ねて来ているので行事等の再開や保護者の方の参加の仕方を考慮しながら再開していく。
3	23: 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	・マニュアル等、策定したものを入り口に設置し保護者の方に見ていただける環境にあるが周知が不足していた。訓練等の実施はあるが保護者等への周知が不十分だった。	・設置場所や内容について保護者に説明周知を行っていく。 訓練等を行った際は、保護者にお知らせしていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		桑の木		公表日		令和 7年 3月 8日		利用児童数		11名		回収数		8		
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応								
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8				・外遊び出来る場(もしくはよく利用する場)があればよりいいと思います。	・近隣の公園に行き、戸外活動を行なっています。								
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4	2	1	1	・去年より少ない気がする ・メインの先生以外の方は、よく知らないのだからです。(気になってはいます) ・人手が足りなそうに見える時があるのもう少し職員さんがいてもいいのかなと思います。	・延長支援の時に見ていただく職員(子どもの支援に関わる)職員に入ってもらっている								
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	1												
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7	1				・いつみてもきれいな部屋だと思っています。								
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6	1		1	・半年に一回のモニタリングでしか活動と子どもの様子がわからない。 ・十分に理解している時とそうでない方もいるような気がします。	・保護者様の意見に沿えるよう時間を作っていきたいと思います。								
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8				・5～11まですべて「はい」にしています。									
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	7	1			職員さんが子どもたちに対して支援をきちんとしてくれているから成長が見えます。いつも感謝しています。	・保護者の方に普段の様子を見ていただく場を事業者内相談会以外にも作ってきたいと思います。								
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6	2			ただもう少し、保護者にも何をしているのか見せてもらえる機会を増やしたり、職員さんともう少しお話しできる時間があると嬉しいです。いつも忙しい職員さん達に色々聞いてもいいのかな?と悩んでしまう時があるので書かせてもらいました。	今年度、安定した生活を送る事を目標に行い安定した生活を過ごせるようになってきたので事業者内相談会以外にも子ども達の様子を見ていただく機会や行事等再開したいと考えております。								
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8					・保護者様がお話したい時に話せるような環境づくりや時間をご要望に応じて作っていきたいと思います。								
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6	1		1	・子ども達の様子が毎日ではなくてもいいのでもう少し見えたり、前のようにスライドショーとか何かあるとうれしいなと思います。									
	11	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	2	1	4										
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8													
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8													
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	1			2									
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	6	1	1			・日頃の子どもの状況が見えないし、共有されない。せめて月で、どうゆうことをやってどうゆう反応をしたのかを話して欲しい。 ・もう少しゆっくり子どもの様子を伺いたいです。								
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8					・月一回の相談会以外はなし。	・ご要望に応じて保護者様がお話したい時に話せるような環境づくりや時間を作っていきたいと思います。							
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5	2			1	・たまにいいので子どもの担当の職員さんにも話が聞きたいです。								
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	4	1	1		・1回のみ、兄弟も参加可(歩け歩け大会)のときあり。 ・なかなか忙しい保護者の方が多いとは思いますが交流会があったらいいです。									

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	2			・相談会などを設けてもらっているが、普段の活動の様子が一切わからず不安なめんもある。 ・相談したい事を伝えると早めの対応をしてもらえることが多いと感じています。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5	2		1	・毎日の活動の様子などが連絡ノートや口頭で知れるといい。(3日に1回1週間に1回)	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4	1		3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2	2		4	・私が覚えていなかったらすいません。	・設置場所や内容について保護者に説明周知や訓練等を行った際は、保護者にお知らせしていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	1		3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4	2	1	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	1			・小さい傷1個でもすぐにお伝えしてくれることにびっくりしました。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7			1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7			1	・今、とても楽しそうに「桑の木行くの」聞いてくれています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	7	1			・活動や様子報告があまりないのが、不満。 ・通うようになってから"変わった"と感じることが多いです。ありがとうございます。 ・職員さんたちみなさんへの満足度、支援はとても満足しています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	桑の木		公表日 令和 7年 3月 8日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	2	・職員の人数が足りない時、他部署から手伝いの職員に入ってもらっている。	・職員研修の為(手伝いの)職員が入ってくれすぎる場合や足りない場合がある。多すぎる際は見守りの役割に徹する必要があると感じる。大人の目が届きすぎたり、口うるさくなったりして子ども同士で解決できる機会を減れしかねないと感じる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		・活動内容や発達の段階によって活動する部屋を分けたり、落ち着かなくなってしまった子には子どもの落ち着ける部屋を使ってもらおう等、対応をしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1		・現場の状況は日々変化するためその場の評価が難しい様に思う。定期的な、振り返りや意見交換が大切が必要。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1		・パート職員にも講習みたいなのがあると支援の統一性がより保たれるように思う。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		担当職員から聞き取りを行い、個別支援計画を作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		・経験の豊富な職員に助言を頂きながら活動プログラムを作成している。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4			・できれば子どもの発達段階に合わせもう1グループあると、より適切な支援が出来るように思う。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			・毎日、指導後指導員全員で反省会、振り返りを行い翌日の指導に活かせるよう話し合いをおこなっている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			・相談員を含めたモニタリングや保護者様からご要望があれば幼稚園等の先生方との担当者会議等を行っている。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2			※未回答2(分からない)
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3			※未回答1(分からない)
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	3		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	2		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4			・月に1回相談会を行っている。桑の木での活動を保護者と一緒に行ってみたり質問や相談にお答えしたり、家庭で実践して欲しい事をお伝えしている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4			

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4			
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	1		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1		・コロナ渦以前はあった。 規模を縮小し、徐々に一部再開している。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			・看護師さんが不在の場合にもとっさの対応が出来るように実践的な訓点が出来ると良いと思う。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			・パート職員にも講習会などの機会があると良いと思う	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4				